

## インターロック制御盤

工事用

## 取扱い説明書・メンテナンス説明書

ISI-8

## はじめに

このたびは、サンワイズ商品をご採用いただきまして、ありがとうございます。  
この取扱い説明書は、商品を永く安全にご使用いただくための取扱い上の注意事項とメンテナンスについての概略が記載されております。記載事項を守らないと、重大な人身事故を引き起こす場合もありますので、ご使用前に必ず本書をご一読いただきますよう、お願い致します。

## お願い

## ● 販売店・施工店・建築会社の皆様へ

この取扱い説明書は、実際にご使用になる建物の所有者、物件管理者のお手元に必ず届くようお取り計らいください。

## ● ご使用される建物の所有者・建物管理者の皆様へ

この取扱い説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ安全に正しくご使用いただくため、重要な内容を記載しています。

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読み下さい。お読みになった後はいつでもこの「取扱説明書」をご利用いただけるよう大切に保管してください。

## ⚠ 使用上の注意

- ① 分解や改造はしないでください。思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなることがあります。
- ② 雨や水のかかる場所や湿気が多い場所、天井裏などの埃の溜まりやすい場所には設置しないでください。故障の原因になります。
- ③ 制御盤の中にクリップや針などの金属類を差し込まないでください。故障の原因になります。
- ④ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温となる場所には設置しないでください。故障の原因になります。
- ⑤ 制御盤の表示が確認できる場所に設置してください。
- ⑥ コンセントを使用する場合は、定格3A以上のコンセントを単独で設けてください。
- ⑦ 定格電圧、定格周波数で使用してください。
- ⑧ 使用する電源コードは同梱の物をご利用ください。同梱の物をご利用なさらない場合は、ケーブル径0.75mm<sup>2</sup>の物をご利用ください。
- ⑨ 電源の配線は特に注意して、抜け・緩みが無いように確実に取付けてください。
- ⑩ 電気工事士でなければできない作業は、電気工事士が行ってください。
- ⑪ 電機錠は必ず通電時施錠型を使用してください。それ以外では動作しません。
- ⑫ 扉まで配線しているケーブルをショートさせないようにしてください。故障の原因になります。

## ※ 施工上の注意

2芯線は極性があります。万が一、+-逆に接続してしまった場合はヒューズの交換が必要になりますので極力2芯コネクタをそのまま使用して接続してください。

製造元

50001-A0F-008-05  
2022/07

サンワイズ株式会社

〒424-0204 静岡県静岡市清水区興津中町848  
TEL 054-360-3222 FAX 054-360-3227URL <https://www.sunwizz.co.jp/>

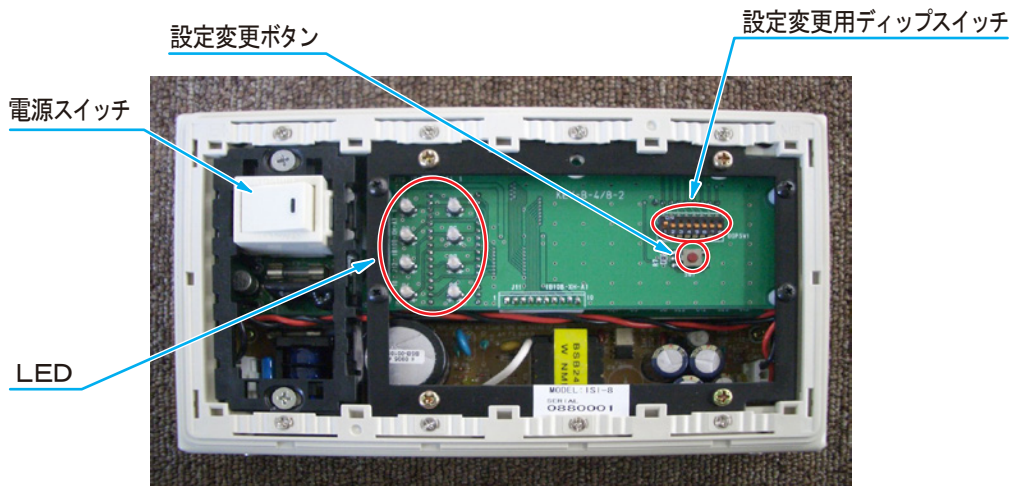
## ⚠ 安全に関するご注意

- ・本書の表示では、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ安全に正しくご使用いただくために絵記号によって安全に関する注意事項の表示を行っています。
- ・この取扱い説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分理解されてからご使用ください。
- ・この取扱い説明書に書かれていない使用法を行う場合、安全に対する必要な配慮は、建物の所有者あるいは建物管理者ご自身の責任で行ってください。

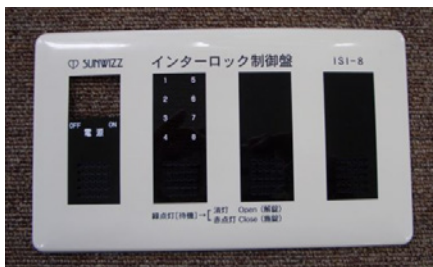
## 概要

- ISI-8は、8枚の通電時施錠型電気錠扉をインターロック制御する装置です。インターロック制御は待機時に両扉とも解錠する常時解錠型です。火災報知機等の非常解錠信号の入力端子を備えておりますので、非常時には両扉とも強制解錠することも可能です。停電時は通電時施錠型扉ですので両扉とも解錠します。ISI-8と通電時施錠型電気錠扉(2芯変換アダプター使用)間は、2芯線で配線できます。インターロックの設置はいつでも変更可能です。

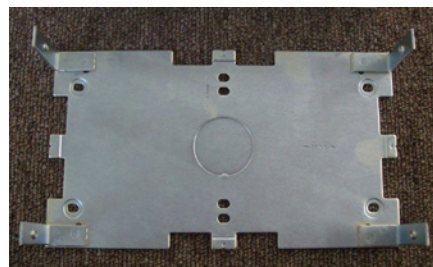
## 各部名称



カバー



ベース

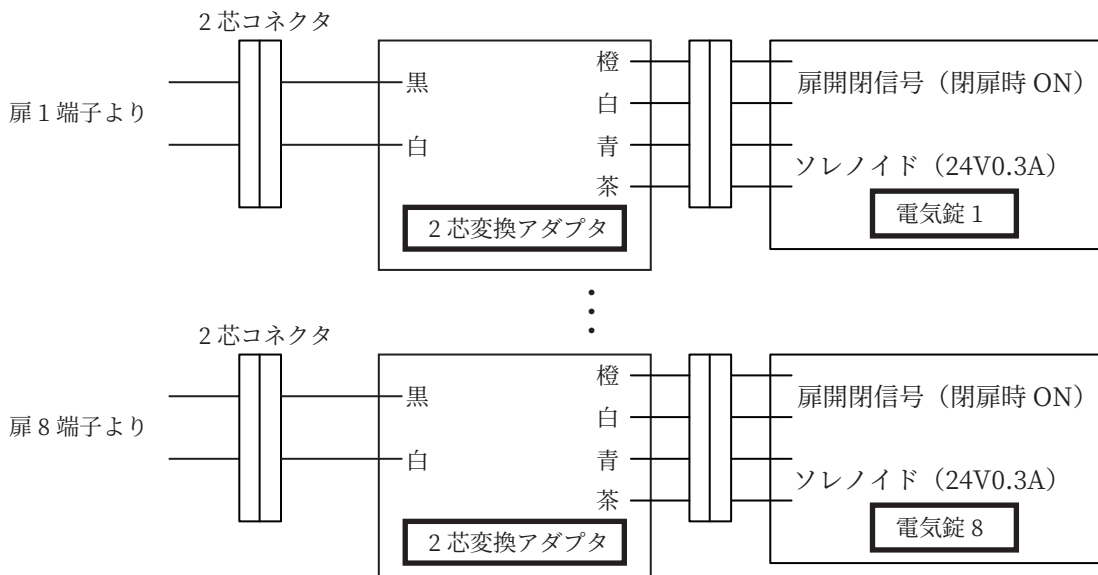
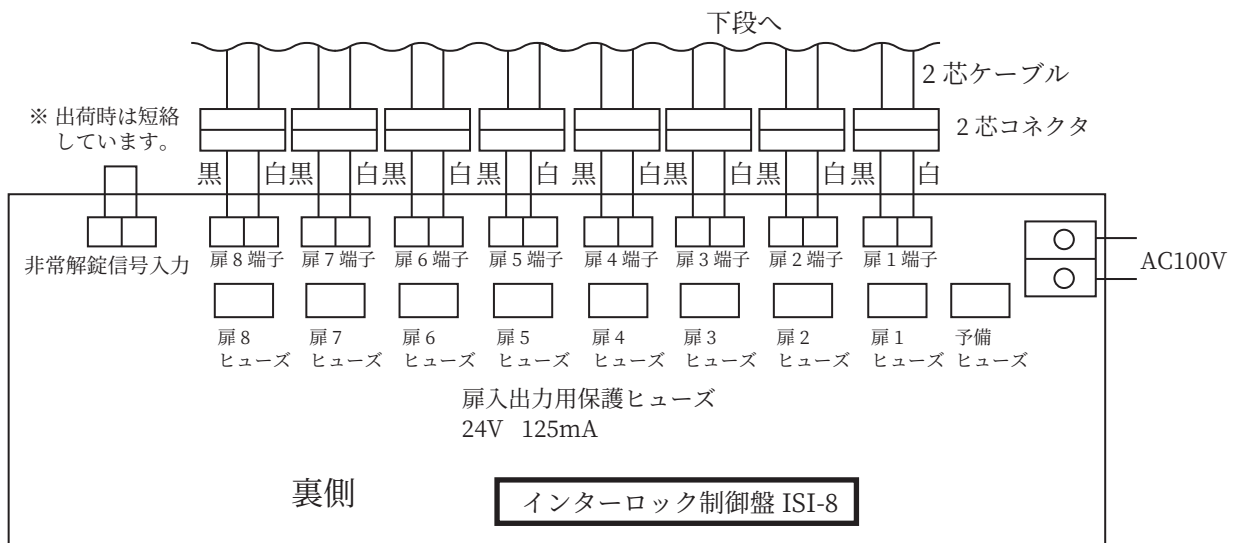
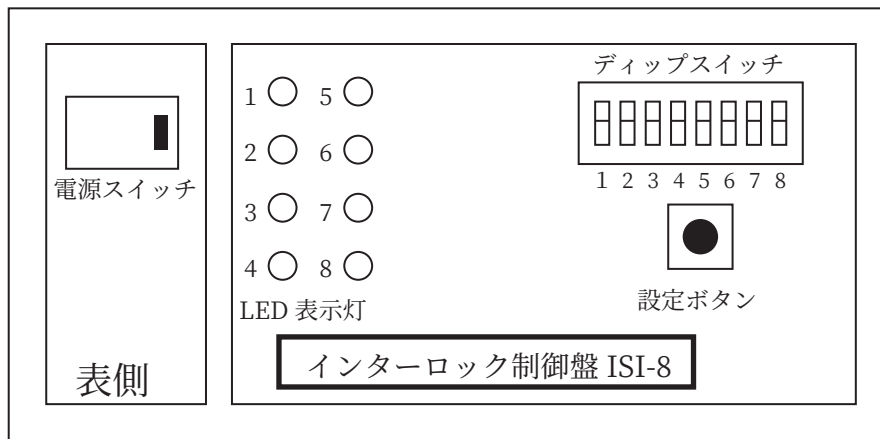


# 構成

## ■ インターロック制御盤 ISI-8

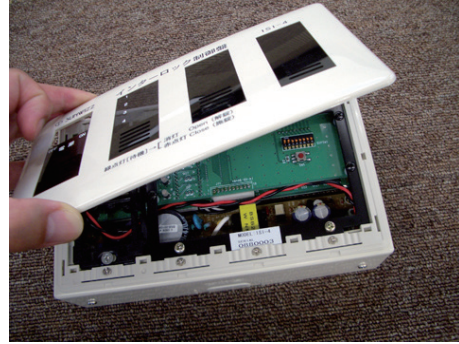
| 名称         | 型式     | 数量        |
|------------|--------|-----------|
| インターロック制御盤 | ISI-8  | 1台        |
| 2芯変換アダプター  | ISI-AD | 8台(オプション) |
| 2芯ケーブル     | 10m    | 8本(オプション) |

# 回路図

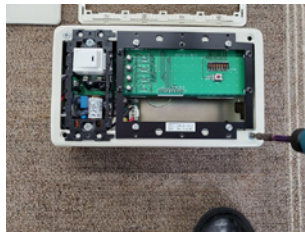
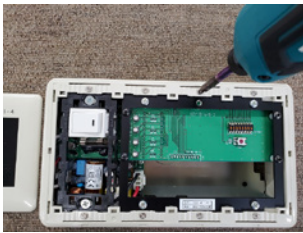


## 設置方法

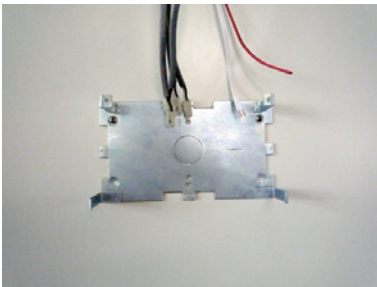
- ① 表面カバーのキリカキ部分にマイナスドライバーを差し込み、表面カバーを外します。



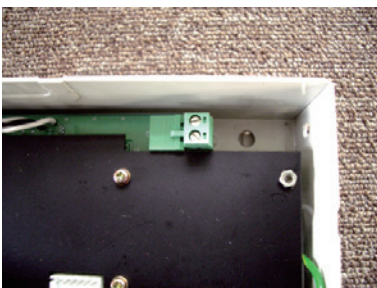
- ② 下記の手順で本体からベースを取り外します。



- ③ 設置場所にベースを取り付けます。  
④ 天井裏より電源コード、電気錠2芯線×8本、  
非常解信号線があれば非常解信号線をボックス  
へ引き込みます。

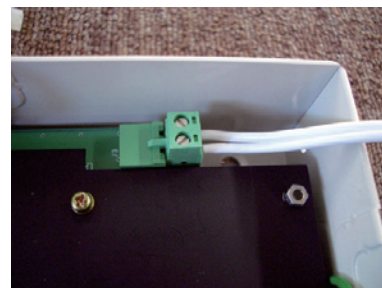
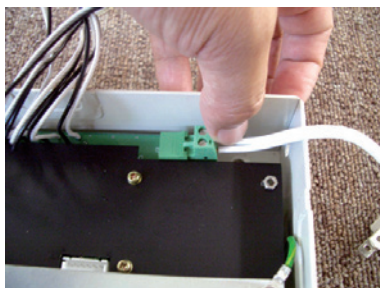
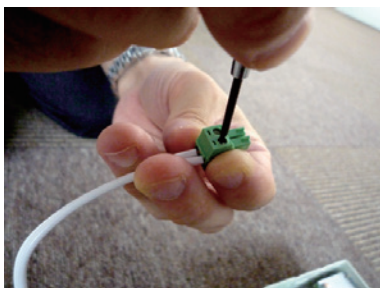


- ⑤ 電源ケーブルの被覆を5mm程度剥きます。  
⑥ 電源用端子台を取り外します。



## 設置方法（続き）

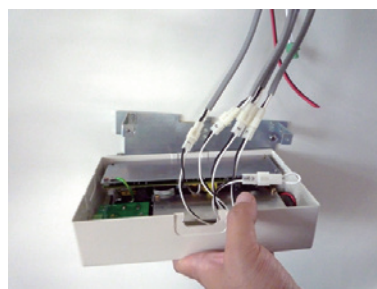
- ⑦ 電源用端子台に電源ケーブルを差し込みマイナスドライバーで固定します。その後に必ず電源ケーブルが抜けにくい確認してください。固定が完了したら電源用端子台へ再び取り付けてください。



- ⑧ 2芯コネクタを接続します。本体側のコネクタには番号の刻印があります。設定の際、その番号を使いますので扉と番号を確認の上接続してください。

### ⚠ 注意

- ・2芯ケーブルがショートした状態や極性を間違えて接続するとISI-8が故障してしまいます。2芯コネクタを接続する前に必ず2芯ケーブルがショートしていないか、テスター等で確認してください。コネクタを切断した場合は必ず極性を確認してください。



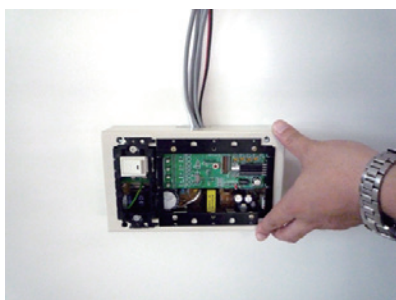
### （非常解錠信号を使用する場合）

「非常解錠」と刻印されたコネクタが非常解錠信号用ですので接続してください。

### ⚠ 注意

- ・非常解信号1点に対し複数のインターロック制御盤をご使用されないで下さい(渡り配線をしないでください)。複数の非常解錠信号に対し1台のインターロック制御盤は接続可能です。その場合は入力a接点の場合はループになるように配線をお願いします。

- ⑨ ベースへ本体を固定します。



## 設置方法（続き）

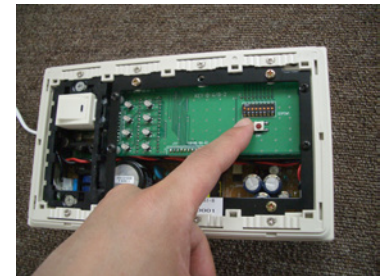
⑩ カバーを取り付けて完成です。



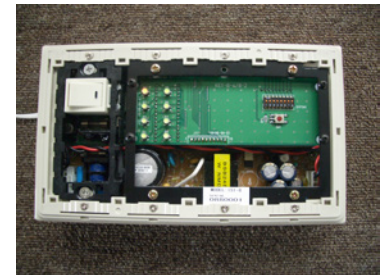
## 動作の設定方法

※ 商品出荷の際に動作の設定は完了しています。  
通常は設定を変更する必要はありません。

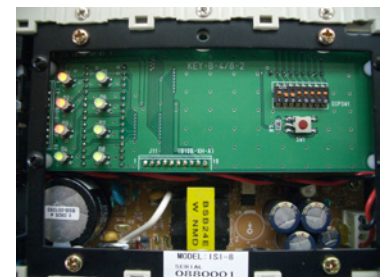
① 設定変更ボタンを長押し(3秒程度)します。



② 長押しをするとLED全てが赤緑点灯し設定変更モードに変わります。  
その後1番のLEDのみ赤緑点灯になります。



③ 設定変更用ディップスイッチを使用し1番が開扉したときに  
施錠する扉の設定をします。  
(写真は2番、3番扉を施錠、4番～8番扉は解錠)



④ 設定変更ボタンを押下すると1番の扉の設定を記憶し2番のLEDが赤緑点灯に変わりますので引き続き2番の扉の  
設定をします。

⑤ ③、④を繰り返し全ての扉の設定を完了するとLED全てが点灯し設定完了を知らせますので1度電源を切ります。

⑥ 次にPWM制御による省エネ設定をします。錠前がすべてMIWAロック製であればディップスイッチの1番を除きすべて  
OFFにします。1台でもシブタニ製の錠前があればディップスイッチを2から4までONにします。

⑦ 再び電源を投入しすべての扉のインターロック設定が機能するか確認します。

⑧ もしLEDランプが赤色点灯にも関わらず施錠されない扉があった場合は一度電源を切りディップスイッチを1つ上げます  
(すべてMIWAロック製であれば2をON、シブタニ製があれば5をON)。

⑨ ⑦、⑧を繰り返しすべての扉のインターロック設定が機能するように設定してください。

⑩ 火災報知機等の外部機器と非常解錠入力端子との接続している場合は火災報知機等の設定をします。火災報知機等が  
b接点出力であればディップスイッチの1番をOFFにしてください。a接点出力であればONにしてください。

⑪ 電源を入れ、火災報知機等の外部機器からの信号入力で施錠された扉が解錠することを確認します。

## ヒューズの確認

- 正扉と接続している2芯ケーブルをショートさせてしまうと基板を保護するためヒューズが切れる可能性があります。ヒューズが切れていないか確認をしていただきますようよろしくお願いします。

- ① 制御盤からヒューズを取り外します。
- ② ヒューズが通電するか確認します。
- ③ 通電すれば正常です。通電しなければ切れていますので交換をお願いします。

## 「故障かな？」と思ったとき

- 正常に動作しないときは、次のことを確認してください。

### LEDランプが消灯している場合

- ① 電源スイッチは入っているか。
- ② ヒューズは切れていないか。ヒューズが切れている場合は、配線のショート、AC100V以外の電源の接続、電気錠コネクタにAC100Vが接続されている可能性があります。配線を確認してください。
- ③ 正しく結線されているか。
- ④ 非常解錠信号端子のコネクタが外れていないか。非常解錠信号が入力されていないか。
- ⑤ 非常解信号1点に対し複数のインターロック制御盤を渡り配線で接続していないか。

### LEDランプが点灯している場合

- ① 正しく結線されているか。2芯線は極性があります。電気錠コネクタをはずし、2芯線を端子台に直接接続した場合＋が逆になっていないか。万が一、＋逆に接続してしまった場合はヒューズの交換が必要になりますので極力2芯コネクタをそのまま使用して接続してください。
- ② 制御盤と扉との間で配線のショート・断線は無いか。
- ③ 扉の立て付けはよいか。ストライクにラッチボルト(デットボルト)が引っ掛かっているか。扉のチリ寸法は正しいか。
- ④ キーやサムターンで解錠出来るか。
- ⑤ 扉を寝かした状態でないか。錠前の種類によっては扉を立て付けた状態でないと正常に動作しないものもあります。
- ⑥ DC24V通電時施錠型の錠前が使われているか。または、通電時施錠型に設定されているか。通電時解錠型や瞬時通電時施解錠型は使用できません。
- ⑦ 錠前のアンチパニックの切り替えスイッチは正しく設定されているか。
- ⑧ グレモンハンドルの場合、ハンドルがしっかり締められているか。グレモンハンドルは最後までハンドルを締め込まないと閉扉したと認識されないため正常に動作しません。
- ⑨ 非常解錠信号の接点入力設定を間違えていないか。
- ⑩ 非常解信号1点に対し複数のインターロック制御盤を渡り配線で接続していないか。

### LEDランプが点灯したり消灯したりしている場合

- ① 配線のショートまたは断線が考えられます。配線がショートしていないか、テスター等で確認して下さい。万が一ショートした場合はヒューズの交換が必要になります。
- ② 2芯コネクタがしっかり接続されているか。

## 仕様

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 電源電圧   | AC100V～240V(単相)             |
| 電源周波数  | 50/60Hz                     |
| 最大電流   | 3A                          |
| 最大電力量  | 300VA                       |
| 定格電流   | 2.8A                        |
| 制御電気錠  | 通電時施錠型 DC24V(最大300mA)       |
| 材質     | カバー:ABS樹脂 露出用BOX:スチール(SPGC) |
| 使用温度範囲 | 0～50℃(直射日光の当たる場所での使用のなきこと)  |
| 使用湿度   | 30～80%Rh(但し結露なきこと)          |
| 本体寸法   | 幅:216×高さ:124×深さ:63(mm)      |
| 質量     | 本体1440g(電源コード含まず)           |

製造元

サンワイズ株式会社

〒424-0204 静岡県静岡市清水区興津中町848  
TEL 054-360-3222 FAX 054-360-3227

URL <https://www.sunwizz.co.jp/>